

## 第9回子育て・教育部会 主な意見

## 《授業参観日での説明報告について》

- ・配布しているニュース等について、見たことある程度という人、小中一貫校となることが「決まったこと」と誤解している人、自分には関係ないという人が多かった

## 《第1回居場所づくりイベント結果報告について》

- ・アンケート回答では、今後の部会等への参加にもつながりそうな結果
- ・事前に集まってボランティアの方にイベント趣旨を理解してもらおう機会がなく反省
- ・みんなで力を合わせたイベント、子ども達が地域で育っていく姿が見られるイベントだった

## (まとめ)

- ・年3回程度の頻度で実施できれば。次回は夏ごろに夕涼み会等を企画予定
- ・今後に向けて、池上校区での実施や資金の集め方・広報の仕方等を要検討

## 《施設一体型義務教育学校（小中一貫校）について》

施設一体型義務教育学校（小中一貫校）となった場合に、「中学生と小学生が一緒になることについて不安」との声を受け、次のことを議論しました。

## ●富秋中学校での取組みについて

- ・生活面で問題を抱える生徒に対して、加配教員制度等を活用し、個別にフォローアップ。学力面についても、生徒のやる気を出すために授業改善に取り組んでいる。

## ●地域の子育て環境に対する不安について

- ・公園で小学生と中学生がトラブルになり小学生の遊ぶ場がなくなる。そういった問題があるまま小中一貫校にしていくことについては反対。幸小学校と池上小学校が統合することは良いと思う
- ・青少年健全サポートチームや青少年指導員などの取組みで、公園で子ども達がたむろしている情報を聞いて現場に行っていたこともあるが、最近はそのようなことはなくなったと思っていた。改めて地元の人にも聞いてみようと思う
- ・小中学校の連携はできてきたが、地域ぐるみで子どもを育てていく力については不安が残る。イベント等を、地域で子どもを育てる力をつくるきっかけにできれば

## ●地域の子どもが減少している問題について

- ・仮に統合しても1クラスのままだとなぜ小中一貫校にするのかが分からなくなる
- ・生徒の数が減少し、クラブ活動の運営がままならないことで、子どもの選択肢が減り、活動に参加しなくなることで放課後時間をもてあますことが問題につながるのではないか
- ・校区編成の問題を含め生徒を増やすような取組を考えてほしい

## ●保護者への情報提供の仕方について

- ・行政の資料を見ると、今の学校の問題点が見えない。保護者へ危機感が伝わっていない

## ●富秋中学校、校区全体のイメージ改善に向けて

- 富中は生徒と教員の距離が近く親身で保護者とも連携が取れるので自分の子どもは通わせたい
- 問題は中学校だけでない。小・中それぞれの問題をどのようにクリアするかまず整理すべき
- 富中のオープンスクールの取組みについて、未就学児の保護者等まで伝わっていない
- 今出ている問題は校区全体が関係していて、学校だけでは解決できない
- 子ども達に居場所（学校や施設や公園など）の選択肢をつくってあげることが重要

### （まとめ）

- 小中一貫校の検討と並行して、今ある地域の問題をどのように解決すべきか考えることが大事
- 小中一貫校になっただけで地域の問題が解決するわけではないが、小中一貫校を議論するこの部会のような場があるから、富秋中学校区全体で問題解決に向けた議論が出来る。幸校区・池上校区がまとまって議論していく土俵として、「小中一貫校」を利用することは良いと思う。
- 「ひとにやさしく」という富秋中学校で培ってきた伝統など、地域の雰囲気をもどのようにつくっていくか、小中一貫校の議論だけでなく、地域の問題解決の場としても議論していきたい
- 保護者等への伝え方を工夫するなど、今後も議論の場へ参加を促進していくことが重要